

暮らしの？

kurashi no hatena

ハテナ

40代会社員女性のKさん。
1人暮らしを続けていたが、
30代の終わりごろ、中古マン
ションを購入してリノベーション
しようと思うようになった。
洋服や靴は年々増えてい
く。趣味の着物や煎茶、中国

「一生に一度の大きな買
物」だけに準備には時間をか
けた。物件探しでは部屋の広
さや築年数、立地状況にもこ
だわった。契約前には物件の
ある街に何度も通って雰囲気
を確かめたという。

自分の思い 細部まで

茶の道具もたくさんある。
「好きなものに囲まれて暮ら
したい。でもすっきり片付け
ておきたい。心地よさと実用
性を兼ね備えた家づくりをし
たいと思いました」と振り返
る。

リノベーションにも力を入
れた。まずは理想の部屋の写
真が載っている雑誌を切り抜
くなど、数年かけて資料を集
めた。「美容師さんにヘアス
タイルを伝えるときと同じ
で、自分が持っている部屋の

大阪市西区
築36年

リノベしました



自分の持っている着物に合わせて作った収納。実用性と心地よさの両方を追求した

イメージを他人に伝えるのは
難しい。だから具体例が必要
だったんです」
特にこだわったのは、収
納。例えば和室には、着物を
収めるための専用棚を作っ
た。事前に、収めるべき着物

や帯、小物などの数やサイズ
を測った上で特注しただけ
に、すべてがきちんと収ま
り、まるで呉服屋さんによ
う。引き出しタイプとは違っ
て、取り出しやすさも抜群
だ。棚の下からは、鮮やかな

グリーンの壁紙がちりりと
ぞき、モダンな雰囲気も醸し
出す。

このほか、靴箱も、靴の数
を数え、サイズを測ってから
作った特注。キッチンには、
手持ちの食器棚の幅にあわせ
た収納棚を作るなど、収納に
はこだわり尽くした。

住み始めて4年近くがたっ
た。「自分の思いが細部まで行
き届いた住まいで、気持ち
落ち着く場所ができました」
と、穏やかな口調で話した。

昭和53年築。専有面積は約
64平方メートル。マンション選
びには1年半かけた。

Arts&Crafts 大阪市西区京町堀1-13の24、☎06-6443-1350

「リノベーション(リノベ)」とは、既存
の建物を大規模改修し、価値を高めること